

地方自治体支援について

【九州道路メンテナンスセンター(R4.4設置)】

「かかりつけ医」のごとく、
橋梁に関するご相談などお待ちしております。

令和4年10月

国土交通省 九州地方整備局
九州道路メンテナンスセンター

九州道路メンテナンスセンターの概要

九州地方整備局
Kyushu Regional Development Bureau

1. 九州道路メンテナンスセンターの体制

- 所在地：福岡市博多区博多駅東2-11-1 福岡合同庁舎 本館8階
- 体制：センター長
 - 【総務課】 課長、総務係長、経理係長、非常勤職員
 - 【技術課】 課長、工務係長、保全企画係長、担当、非常勤職員 計10名

2. 九州道路メンテナンスセンターの主な業務内容

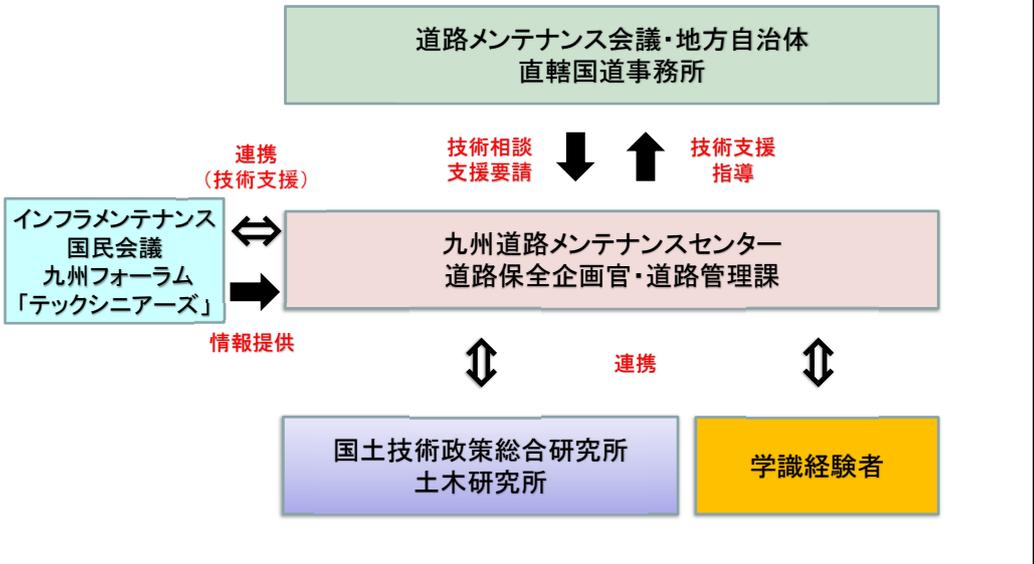
- 直轄国道における橋梁等（橋梁・溝橋）の健全性の診断
 - ・ 診断業務、橋梁対策区分判定会議
 - ・ 技術相談対応・支援、新技術および点検の指導
- メンテナンスデータの管理・分析
 - ・ 橋梁DB、橋梁定期点検調書、橋梁管理カルテ
 - ・ トンネル、シェッド、大型カルバート、横断歩道橋、門型標識
- 地方自治体支援
 - ・ 技術相談対応・支援
 - ・ 直轄診断の実施
 - ・ 修繕代行業における技術的支援
 - ・ 各種技術講習会（点検、診断、修繕）の開催
- その他
 - ・ 計画研修の開催 : 橋梁初級Ⅰ（Ⅰ期・Ⅱ期）、橋梁初級Ⅱ
 - ・ 学識者との連携 : 橋梁保全検討委員会、TEC-DOCTOR（構造系）、KABSE など
 - ・ 症例検討会への参加 : 全国、九州管内、各県道路メンテナンス会議技術検討部会
 - ・ 個別調査・検討 : 道路橋石橋の定期点検に関する参考資料検討



■九州道路メンテナンスセンター職員

九州道路メンテナンスセンターの概要

3. 九州道路メンテナンスセンターと他機関との関係



九州道路メンテナンスセンター技術相談窓口開設

九州道路メンテナンスセンターのホームページ（暫定版：https://www.qsr.mlit.go.jp/rd_mainte/）

- 問い合わせ（技術相談窓口）は原則、メール（qsr-kyushudoro@mlit.go.jp）で受け付けています。但し、緊急を要する場合は、電話にてご相談ください。TEL：092-409-1509

どんな些細な事でもお気軽にご相談ください!!

4. 九州道路メンテナンスセンターの技術支援・活動事例 (R4.4~R4.8)

・ 基準運用に関する相談対応 (A市)



国総研、土研、道路部、メンテナンス、A市による技術相談状況

・ 国総研との合同現地調査 (補助国道)



・ 橋梁補修に関する相談 補修状況調査 (直轄国道)



・ 学識者との石橋調査 (県道)

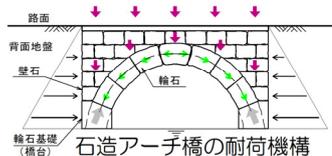


道路橋石橋の定期点検に関する参考資料[石造アーチ橋] (中間報告) の概要(1/2)

1. 道路橋は5年に一度の法定点検を実施し、健全性の診断を実施することとなっている。
2. 実施に際しては、技術的助言である道路橋定期点検要領 (H31.2) によっている。
3. 上記には石橋に関する記述がないため、その技術資料作成のニーズが非常に高い。
4. 今般、道路橋石橋 (石造アーチ橋) の定期点検に関する参考資料を作成した。

<参考資料の概要>

1. これまでは、ひびわれ、抜け落ち等の損傷を見つけることが主眼になっていた。
2. これからは、石造アーチ橋の耐荷機構の成立性を診断するための点検の考え方を明記。
 - ① アーチ・壁石の形状確認
 - ② 構造安全性に影響を及ぼす変状 (沈下・移動・傾斜、洗掘、空洞など)
 - ③ 石材相互の一体性 (抜け落ち、はらみ出し、ずれ、開きなど)



基礎の洗掘



壁石のはらみ出し

道路橋石橋の定期点検に関する参考資料[石造アーチ橋](中間報告)の概要(2/2)

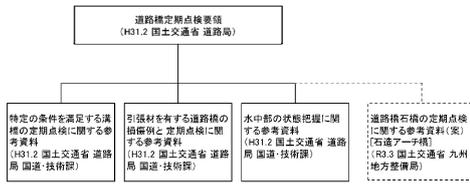
本資料の位置付け

本資料は、アーチ構造の石橋（以下、石造アーチ橋と呼ぶ）について、健全性の診断を行うために適切かつ効果的に状態の把握が行われるように、その構造や材料の特性を踏まえて個々の石造アーチ橋の状態の把握の方法を計画するための技術資料である。

健全性の診断は、個々の橋及び変状に応じて適切に行う必要があり、技術的助言（「道路橋定期点検要領（平成31年2月 国土交通省 道路局）」）にも記載されているとおり下記の点に注意が必要である。

- 道路橋毎又は部材毎の健全性の診断を行うにあたっては、当該部材の変状が道路橋の構造安全性に与える影響、混在する変状との関係性、想定される原因（必ずしもひとつに限定する必要はない）、今後の変状の進行、変状の進行が橋の構造安全性や耐久性に与える影響度合い等を見立てる必要がある。また、例えば、他の部材の変状との組み合わせによっては、着目する部材が道路橋に与える影響度が変わることもある。
- 道路橋の構造、置かれる状況、変状の種類や発生箇所も様々であることから、特定の部材種別や変状種類毎に画一的な判定を行うことはできない。

そこで、本資料ではこれらを踏まえて適切な健全性の診断が行われるよう、石造アーチ橋の構造や材料の特性、変状の特徴についての情報をまとめた。



目次

	Page
1. 石造アーチ橋の構造特性	1
2. 定期点検における留意点	5
3. 典型的な変状例と健全性の診断の留意点	14
4. 記録方法の例	26
別紙 1. 部材の名称と変状の例	30
別紙 2. 定期点検の手順の考え方（参考例）	33
付録 1. 三次元測量及び画像による記録の事例	34
付録 2. 石材の種類の見分け方の事例	37

九州地方整備局ホームページ掲載
<http://www.qsr.mlit.go.jp/n-michi/roukyu/ishibashi.html>